

平成 27 年度環境技術実証事業 有機性排水処理技術分野
技術実証検討会（第 2 回）議事要旨
（公開用）

1. 日時：平成 28 年 3 月 15 日（火）15：00～17：00

2. 場所：東京国際フォーラム G509 会議室／東京都千代田区

3. 議題

- （1）事業の実施計画及び進捗状況について（資料 1－1、1－2）
- （2）実証試験要領の改定について（資料 2）
- （3）実証試験結果報告書（案）について【非公開】（資料 3）

4. 出席者

検討員：（敬称略）

藤田正憲（座長）、徐開欽、鈴木隆幸、鈴木敏資、宮腰智裕（欠席 岡田光正）

事務局：環境省

実証運営機関 株式会社エックス都市研究所

実証機関 一般社団法人 埼玉県環境検査研究協会

5. 配布資料

資料 0 検討員名簿

資料 1－1 平成 27 年度 ETV 事業（有機性排水処理技術分野）実施計画及び進捗状況

資料 1－2 平成 27 年度 有機性排水処理技術分野 応募状況（検討員限り）

資料 2 実証試験要領の改定について

資料 3 実証試験結果報告書（案）（検討員限り）

参考資料：環境技術実証事業 有機性排水技術分野実証試験要領
（平成 27 年 4 月 23 日改定）

会議は一部の議題を除き、公開にて行われ、傍聴者は 2 名であった。

【 議 事 】

(1) 事業の実施計画及び進捗状況について

事務局より、資料 1-1「平成 27 年度 ETV 事業（有機性排水処理技術分野）実施計画及び進捗状況」、資料 1-2「平成 27 年度 有機性排水処理技術分野公募状況」を用いて事業の実施及び進捗状況の説明、事業の公募状況と対応についてそれぞれ説明を行った。

(2) 実証試験要領の改定について

事務局より、資料 2「実証試験要領の改定案について」について、実証試験要領の改定案の説明を行った。中小水力発電技術分野は次年度より手数料徴収体制に移行し、その代り「テーマ自由枠分野（仮称）」が創設される見込みである。また、ISO-ETV（ISO14034）発行に伴い規格の要求事項と実証試験要領を整合する必要がある、このことは次年度に運営機関と連携していく懸案事項として継続することとした。改定は、案のとおり進めることとした。

(3) 実証試験結果報告書（案）について

事務局より、申請者であるセキュリオン・24 株式会社同席のもと、資料 3「実証試験結果報告書（案）セキュリオン・24/BS-400 バイオ固形剤による油水分離槽内油分除去方法」について、装置の概要、試験の方法、実証試験の状況、実証試験結果の説明を行った。検討員からの指摘事項を修正し、報告書を完成させることとなった。